

さいたま市長メッセージ（令和4年9月22日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

本市では、9月21日発表分までの1週間で、4,480名の

新規陽性者が確認されています。減少傾向にあるものの、依然として多くの
方が陽性となっています。

さて、9月26日から、感染者の全数届出が、全国一律で見直されます。

65歳以上の方、入院を要する方、重症化リスクのある、治療薬の投与
や新たに酸素投与が必要になった方、そして妊娠している方については、こ
れまでどおり変更はありません。

それ以外の方は、陽性と診断された場合でも、医療機関から発生届は

提出されませんので、ご自身で「陽性者登録窓口」に必要な情報を登録し
て、マイハースを活用しながら健康観察を行うこととなります。

陽性者登録をすると、関係機関で情報が共有されます。万が一、体調が
悪化した場合でも、ご本人が「陽性者相談窓口」へ連絡すれば、円滑に必要
な医療的措置を受けることができます。安心して療養していただくために、
必ずご登録していただくようお願いいたします。

なお、全数届出の見直しは、オミクロン株の特性を踏まえたものであり、
新型コロナウイルスの脅威が去ったものではありません。本市ではオミクロ
ン株に対応したワクチンの接種を、重症化リスクの高い方など、現行の4
回目接種対象者のうち未接種の方を対象として、9月27日から開始しま
す。

また、10月3日からは、1・2回目接種を完了し、最終の接種から5
か月以上経過した12歳以上の全ての方を対象に接種を実施します。

引き続き、ワクチン接種の検討と、感染症対策の継続をお願いいたします。